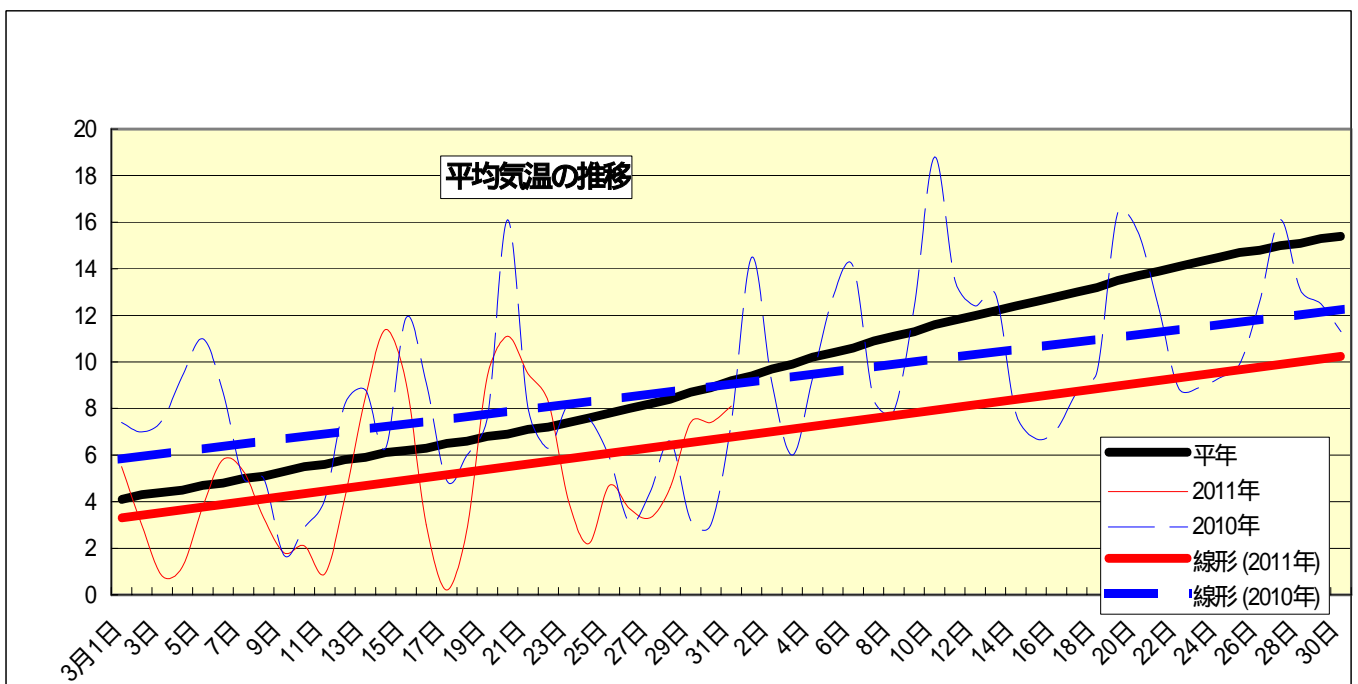


各支店長・営農指導員殿

4 月に入っても毎日霜が見られるなど気温が低く推移しています。既にミディトマトの定植が始まっています。5 日過ぎからはマルセイユメロンの定植も始まってきます。しかし、夜温が 0 近くまで下がっております。ハウスといえども夜半は外気温より 1-2 高い程度で、苗の障害発生が非常に懸念される状況です。手当てとしては、苗は出来るだけ温床に入れておきます。冷床の苗や定植のすんでいる苗は、トンネルをして、夜はビニールをかけておきましょう。トンネル支柱の準備が間に合わない場合は、パオパオなどかけて、その上からビニールのベタガケをしましょう。

本年 3~4 月の気温推移 (対平年、対前年比)



4 月は高温にも遭遇しやすく、春先が天候不順であった昨年は植え替えも発生しております。今後も引き続き気象

の不安定な状況が続く見込みですので、必ず**最高最低温度計**や**地中温度計**を設置しハウスの温度管理は十分に注意して下さい。なお、温度計の設置は植物の生長点の高さに、地中は 10~15 cm くらいの深さで測定して下さい。



あるハウスの 4 月 1 日 10 時の気温計。



28 日の冷え込みでトマト苗が凍害に遭った。ハウスの中といっても加温していない限り、温度は外気温より 1-2 高い程度です。この日は外気温がマイナス 3 位まで下がっていたため、ハウス内であっても凍害が発生。

注意 降霜が続いています。定植後の温度管理に充分留意して下さい。(H23.3.31)



透明マルチで地温が充分確保され順調に生育している。



こちらも緑マルチで順調な生育をしている。



もう少しで定植期となるマルセイユの健苗。



定植後の低地温で、スクミ苗状態となった。(昨年)



28日の冷え込みでキュウリ苗も凍害に遭った。



低温状況下で灌水を行なった為ベト病が蔓延したホーレンソウ。

ホーレンソウの伸びが悪いとして、灌水を行なう例が見られます。しかし低温と多湿状態の中で、更に湿度を上げてしまうこととなり、ベト病を発病し蔓延が早くなります。ホーレンソウは元来乾燥に強いので、晩秋から早春にかけての栽培では、基本的に灌水は行なわないほうが無難です。